

令和 7 年 1 2 月 1 6 日
こども青少年・教育委員会
こども青少年局

保育所等における給付費及び補助金の 不正受給と対応状況について

1 趣旨

令和6年8月22日に、「一般社団法人K I D - G」が運営する横浜市内の認可保育所等5園において、企業主導型保育事業等に勤務する職員を認可保育所等に勤務しているものとして届け出するなど、給付費や補助金を実態とは異なる内容で申請し、不正に受給していたことが判明しました。

本事案の発覚を受け、当該法人に対して令和7年8月29日付けで、改善勧告文書を発出し、事務の適正化、過払い分の返還、業務管理体制の再構築等について行政指導を行いました。

また、令和7年9月12日には、本市として記者発表を行いました。

本日は、当該法人及び園に対する現在の指導及び改善等の状況についてご報告いたします。

1 趣旨

【参考】主な経過

日付	内容
令和6年8月22日	保育士宿舎借り上げ支援事業補助金の抜き打ちヒアリング調査を実施。調査の結果、企業主導型保育事業で勤務している職員を認可保育所勤務として申請していたことが判明
11月15日	（公財）児童育成協会・川崎市・本市合同で、計8園（横浜市内の認可保育所等5園、川崎市内の認可保育所1園、横浜市内の企業主導型保育事業2園）に同時立入調査を実施
令和7年6月30日	書類調査及びヒアリング等の結果をまとめ、本市で作成した雇用状況表を当該法人に提示
8月	8月入所分から児童の新規受入れを一時停止
8月29日	事務の適正化、過払い分の返還、業務管理体制の再構築等を指示する改善勧告を発出
9月12日	記者発表 以降、本市において再発防止策を講じる
9月下旬～10月上旬	当該法人が保護者説明会を実施
9月30日 10月14日	給付費及び保育士宿舎借り上げ支援事業補助金の返還金元金及び加算金計327,642,098円を当該法人が納付
11月26日	保育士宿舎借り上げ支援事業補助金の加算金及び過料計14,503,374円を法人に請求
11月28日	給付費の利息金額（29,507,789円）を法人に提示
12月11日	保育士宿舎借り上げ支援事業補助金の加算金及び過料計14,503,374円を当該法人が納付

2 運営法人に対する指導及び改善取組の状況について

(1) 不正の内容

給付費について、本部職員が職員の勤務状況を届出書類に反映せず、企業主導型保育事業に勤務する職員を認可保育所等に勤務するものとして請求するなど実態より多い労働時間で届出をしていました。また、施設長として届け出ていた職員が実際には施設に勤務しておらず、運営管理業務にも専従していませんでした。

保育士宿舎借り上げ支援事業補助金については、本部職員が本来対象外である施設に勤務している保育士を申請していたことや、保育士本人に家賃の一部を負担させているにも関わらず、法人が全額負担しているものとして申請書類を作成していました。

2 運営法人に対する指導及び改善取組の状況について

(2) 指導及び改善状況

運営法人に対して指導を行い、一定の改善が図られています。

【表 1：指導及び改善状況】

指導項目	指導の状況	改善の状況
給付費	<ul style="list-style-type: none">・ <u>職員の勤務状況を毎月確認したうえで届出に反映すること</u>・ 本市への提出前に必ずダブルチェックする仕組みを構築すること・ 出退勤記録の修正の際、いつ、誰が修正したのかわかるよう台帳等で記録を残すこと	<ul style="list-style-type: none">・ <u>本部職員が行っていた請求事務を各園の状況を把握する施設長が行う体制に変更したことを確認</u>・ 届出・請求内容のダブルチェック及び出退勤記録修正に関するマニュアルや記録簿を整備したことを確認
保育士宿舎 借り上げ支援 事業補助金	<ul style="list-style-type: none">・ <u>保育士の勤務実態や費用負担の実態を踏まえ、適正に申請すること</u>	<ul style="list-style-type: none">・ <u>チェックマニュアルを整備したことを確認</u>・ 令和7年度分について、実態と齟齬のない内容で適正に申請されていることを確認

引き続き、定期的な立入や出勤簿の徴取等により職員の勤務実績を確認するとともに、実態に即した適正な請求が行われているかどうかを厳格に確認していきます。

2 運営法人に対する指導及び改善取組の状況について

(3) 給付費及び保育士宿舎借り上げ支援事業補助金の返還状況

令和7年9月30日、10月14日及び12月11日に、返還金元金及び加算金・過料、合計約3億4,215万円が法人から返還・納付されました。

元金返還日によって変動する給付費に係る利息、約2,951万円についても、法人からは支払う意向が示されています。

【表2：返還・納付済額】

(単位：円)

給付費／補助金	返還金元金	加算金・過料	合計
給付費	273,673,810	11,798,288	285,472,098
保育士宿舎借り上げ支援事業補助金	42,170,000	14,503,374	56,673,374
総計	—	—	342,145,472

【表3：未済額】

(単位：円)

給付費／補助金	利息	合計
給付費	29,507,789	29,507,789

2 運営法人に対する指導及び改善取組の状況について

(4) 法人の執行体制

令和7年10月3日付で不正に携わった法人代表は退任し、新代表が就任しています。
新代表については、従前の法人の理事として参画していましたが、現時点では不正への関与は確認されていません。

現在、新代表の下で人員体制の一新や事務体制の再構築、外部の視点によるチェック体制の確保等の検討を進めており、再発防止に向けた改善状況を引き続き確認していきます。

2 運営法人に対する指導及び改善取組の状況について

(5) 保育に関する改善の取組について

保育の現場において不適切保育などは確認されていません。また、保育士の配置等について改めて確認した結果、一部の日にかや時間帯において不足が見られましたが、法人が休職者の復職等により新たに職員を確保し、現時点で改善されていることを確認しています。今後も継続して定期的の確認を行っていきます。

なお、現場で働く保育士は事務の不正とは関係ありませんが、心理的負担による退職者の増も懸念されます。保育士へのケアやサポート等も必要と考えられ、本市としても保育状況の確認や、保育士職による助言等を継続して実施していきます。

(6) 新規受入れの一時停止について

改善の取組に注力するため、園児の新規受入れについては令和7年8月入所分から一時的に停止しています。不正の防止に関する再発防止の徹底や、適正な事務執行体制の構築がなされたと判断できた際に、受入れを再開する予定です。

3 再発防止策の対応状況について

他の法人等に対しても、同様の事案を発生させないため、本事案の発生後に、抜き打ち調査や申請様式の改訂等の再発防止策を講じました。今回の調査で不正は確認されませんでした。今後も継続して調査等を実施し、適正な給付に向けた対応を進めていきます。

(1) 給付費

① 施設長の勤務状況に関する抜き打ち調査（55園）

施設長が施設に勤務しているか、施設長として運営管理業務に専従しているか等を調査しました。いずれの園でも施設長の要件を満たしていました。

② 企業主導型保育事業との職員重複調査（2法人）

横浜市内で保育所等を運営し、かつ、横浜市内で企業主導型保育事業を運営する2法人を対象に職員の重複調査を行いました。（公財）児童育成協会への申請内容と本市への届出内容を照合したところ、保育所等と企業主導型保育事業を兼務する職員はいましたが、不適切な重複申請は確認されませんでした。

3 再発防止策の対応状況について

(2) 保育士宿舎借り上げ支援事業補助金

① 本人負担額に関する抜き打ち調査（100法人）

本事案では、保育士本人に家賃の一部を負担させているにも関わらず、法人が全額負担しているものとして申請書類を作成していました。この状況を踏まえ、令和7年10月に、令和7年度の申請法人計409法人中、昨年度の同様の調査では対象としなかった法人を中心に保育士本人へのヒアリング調査を実施しました。調査の結果、実施した全ての法人において申請内容に誤りがないことを確認しました。

② 申請様式の改訂

本事案では、申請内容が実態と異なっていたことを踏まえ、本人負担額が正しいか、補助対象要件に該当するかについて、保育士本人がチェック項目で確認したうえで、本人署名を要する「内容確認書兼誓約書（同意書）」を申請書類に追加し、確認を行っています。

③ 一般指導監査時の賃金台帳等との照合

一般指導監査の際に、申請書類に記載の本人負担額に誤りがないか、賃金台帳等と照合し、確認を行っています。

【参考】法人の概要

法人名：一般社団法人 K I D - G

所在地：横浜市鶴見区岸谷一丁目24番地11

代表者：前代表 小畑貴嗣、新代表 末永法子

【保育施設】

所管	園名	施設種別	所在地	定員
横浜市	SEA KID保育園	認可保育所	鶴見区岸谷	105人
横浜市	SANDA KID保育園	認可保育所	鶴見区駒岡	60人
横浜市	SAIL KID保育園	小規模保育事業	鶴見区岸谷	19人
横浜市	SAFARI KID保育園	小規模保育事業	旭区四季美台	19人
横浜市	SEASON KID保育園	小規模保育事業	旭区鶴ヶ峰	19人
(公財)児童育成協会	SYMPHONY KID保育園	企業主導型保育事業	鶴見区岸谷	40人
(公財)児童育成協会	SUN KID保育園(※)	企業主導型保育事業	旭区四季美台	12人
川崎市	SPACE KID保育園	認可保育所	川崎市幸区	80人

※SUN KID保育園は、関連法人(株)KIDが運営